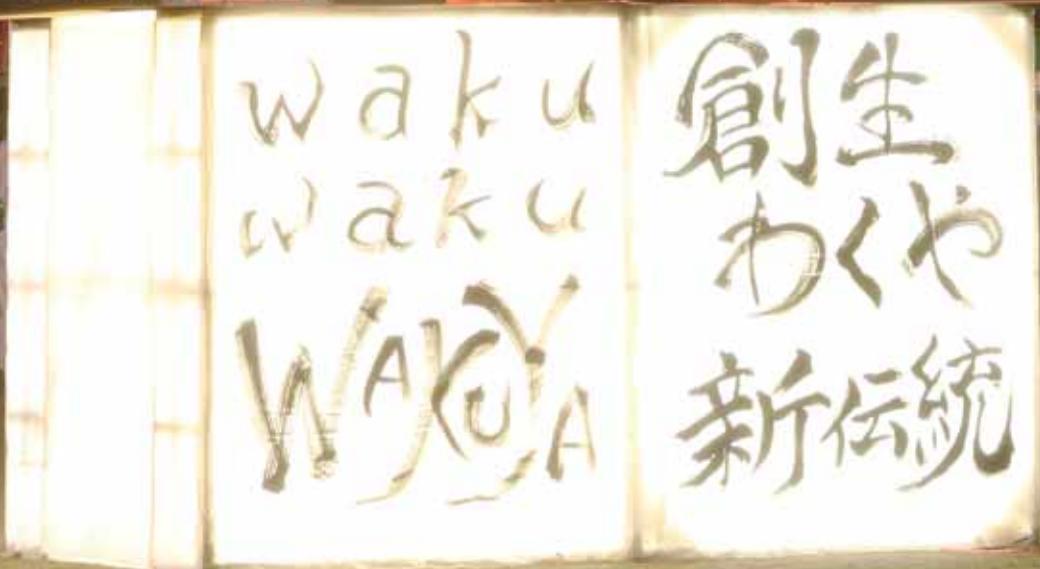




9  
2016. Sep  
No.734

# わくやの夏の新伝統





# わくや新夏まつり

wakuwaku wakuya 創生わくや新伝統



1縁起物の餅まきからスタート 2ボランティアも笑顔で楽しむ 3五所川原の立佞武多もお目見え 4涌谷出身バンドの熱唱ライブ 5汗だくになってウォンテッド！スタンプラリー 6疾走するスピード感は本物のゴーカート 73mの高さからのダイブはスリル満点 8会場が一つになった涌谷総盆踊り 9・10スタジアム内を神輿が渡御 11子育て支援サークルおひさまスマイルでおなじみの風呂敷バルーン 12・13家族で楽しめる手づくりワークショップ 14気分はスケーター 15商店街を彩った絵とうろうが光のトンネルに 16結成2カ月！ママも子どもたちもがんばったYOSAKOI 17・18・19スタジアムで初演舞！涌谷太鼓・籠岳白山豊年踊り・古式獅子舞



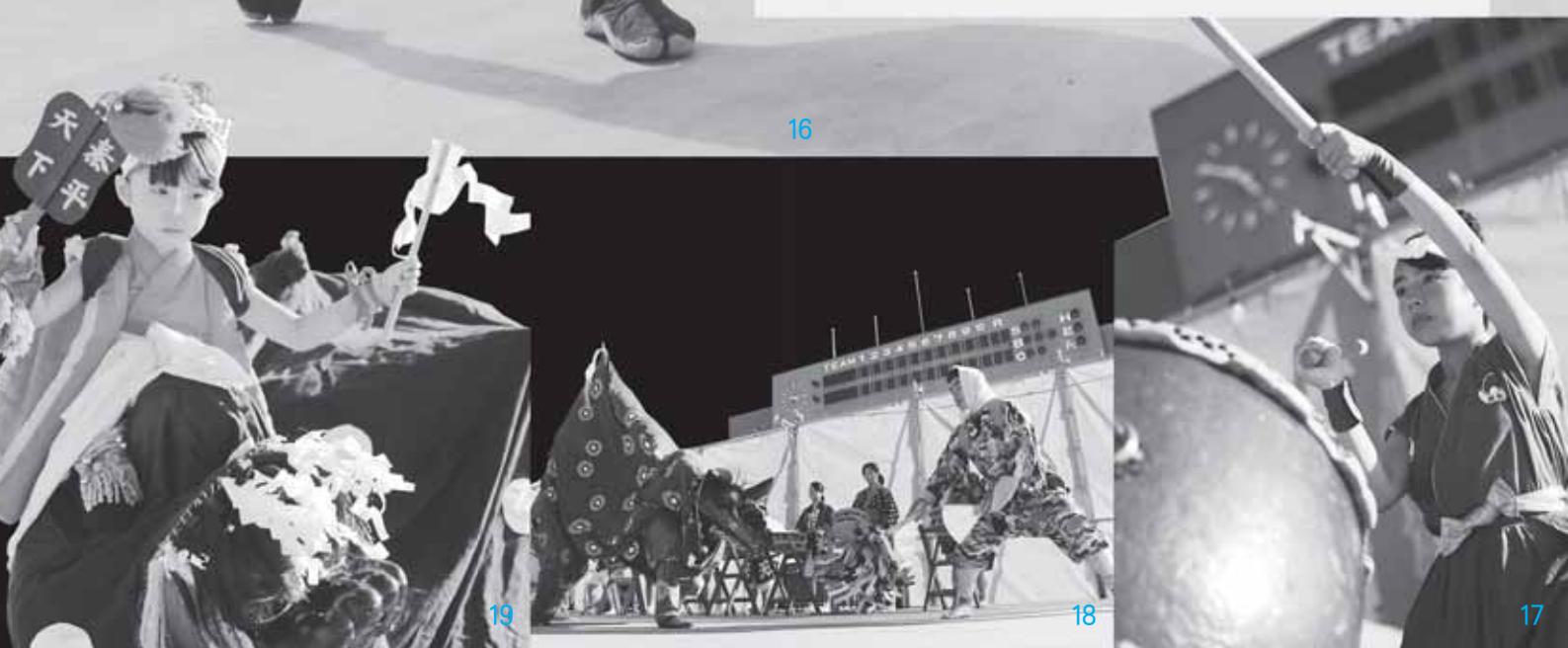


8月14日(日)、涌谷スタジアムで夏まつりが初開催され、かつてないほどのにぎわいを見せました。

遠田商工会青年部が中心となり、「町民全員参加」をテーマに、涌谷太鼓や笠岳白山豊年踊り、古式獅子舞などの従来の伝統と、涌谷総盆踊りや中学生みこし、YOSAKOI、体験ワークショップなどの新たな試みが交差。

夏まつりの最高潮の納涼花火大会では、音楽ライブとともに、会場が一つとなり夏の夜のひと時を楽しみました。

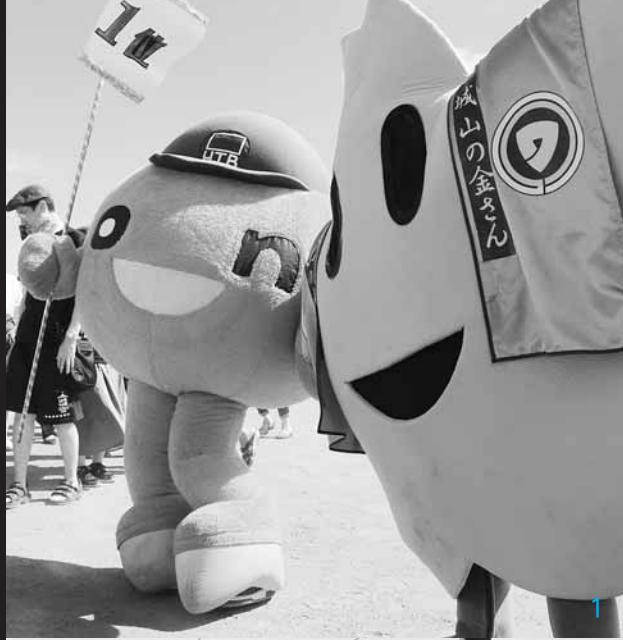
16



19

18

17



7月31日(日)、昨年に引き続き、北海道テレビ主催の「水曜どうでしょうDODESYO CARAVAN」が11県11会場で開催され、宮城県では涌谷町が開催地となりました。

この日は、全国各地から約800組2,500人のファンが涌谷町に集結。藤村ディレクターと嬉野ディレクター、HTBマスコットキャラクター「onちゃん」とともに、ずんだ餅つきやスイカ割り、カルトクイズなどを繰り広げたほか、打首獄門同好会が「男鹿ナマハゲロックフェスティバル」後に駆けつけ、涌谷町が「水曜どうでしょう」に染まりました。

1・2HTBマスコットキャラクターonちゃんと城山の金さんのほか、近隣市町のご当地キャラによる真夏の20m徒競走。優勝はonちゃん3・4・5すっかり全国区になった打首獄門同好会。秋田のフェス会場から駆けつけ、ライブを開催6昨年目入れをした黄金のダルマを嬉野Dが開眼7涌谷町職員もカルトクイズで全国の藩士を迎へ討ちます8来年に再びの開催に向け藤村Dが黄金のダルマに目入れ9・11ファンとの記念撮影と安産祈願10・14山形県大石田町も特産のスイカを引っ提げ出店。onちゃんのスイカ割りと試食でファンを魅了12・13産直センター黄金の郷の協力で今年も餅つき！大魔神・藤村Dに今まで食べたずんだで一番うまいずんだと言わしめた15どうでしょうキャラバンでは、遊びに来たファンが進んでボランティアをするんです16・17HTBのスタッフの皆さんも一緒にどうでしょうキャラバンを楽しみます18インパクト大のトラックでビシッと涌谷にも参上







## じどうかんまつり

7月24日(土)に、町内4つの学童クラブが一堂に会した「じどうかんまつり」が八雲児童館で開催されました。八雲神社にお参り後、手づくりしたみこしを担ぎ練り歩き、「八雲の河童」を踊り、みんなで縁日を楽しみました。



## 伊達かっぱの里まつり

「涌谷の夏は、かっぱから始まる」とも言われる夏の幕開けを告げる風物詩。恒例のきゅうりの早食いやラムネ早飲みから始まり、町内のさまざまな文化・芸能団体が、日頃の練習の成果をステージ発表していきました。



## 9の3区夏まつり

9の3区でも夏まつりが開催され、400人以上の方々が来場。プリンの早食いなど、独自の企画でまつりを盛り上げつつ、老若男女問わず地域住民間の親睦を深めました。





大規模災害時の備えとして

## 遠田消防署と協定を締結

8月2日(火)に、町では、遠田消防署と「水災害時における施設の一部使用に関する協定」を締結しました。

この協定は、平成27年9月11日に発生した関東・東北豪雨での経験を教訓としたものです。洪水などの水害発生時に、消防ポンプ車・救急車などを涌谷町民医療福祉センターに移動させ、消防活動の継続を可能にし、地域を守るために防災力を強化させるための協定です。



涌谷町の柔道期待の星

## 涌谷中2年大谷遼くんが東北大会出場

7月24日(日)に、宮城県武道館で開催された第65回宮城県中学校総合体育大会において、涌谷中学校2年生の大谷遼さんが、柔道男子個人50kg級で第3位となりました。

大谷くんは、5歳から柔道を始め、現在は初段です。「県大会では自分が得意とする背負い投げで負けてしまったので、そのことを課題として今後に向けてがんばっていきたい」と抱負を話していました。

なお、県大会で3位となつたため、8月7日(日)から行われた東北大会にも大谷くんは出場しました。



競い合うだけではなく親睦を深める！

## 真夏のソフトボール大会を開催

8月7日(日)に、涌谷スタジアムを会場に行政区対抗ソフトボール大会が開催されました。行政区の威信をかけて参加者全員が精一杯、楽しくアツく競技しました。

当日は夏の日差しが、じりじりと照り付く1日でしたが、各チームが精一杯、楽しくアツく競技しました。

3区、5の2区、9の1区、9の3区、八雲区、上小塚区、日向区の7チームが参加し、白熱した試合を繰り広げられました。

優勝は3区で、準優勝は9の3区という結果になりました。また、「わくや夏まつり」が開催された8月14日(日)には、中央公園のグラウンドにおいて、

11区が毎年お盆の帰省の時期に合わせて行つているソフトボール大会を開催。今回で58回目を迎えるそうです。行政区内の親睦を深めていました。いずれのソフトボール大会においても、単に勝ち負けを競うだけでなく、子どもから大人まで、年代と性別を超えた世代間交流が行われ、地域の一体感を醸成する姿が見られました。少子高齢社会で参加者が減少しておりますが、涌谷町の伝統「真夏のソフトボール大会」に参加・主催していただき、お互いに支え合える地域へと導いてまいりましょう。



ベトナムから町民医療福祉センターに視察  
**足こぎ車いすの現場を見学**



7月26日(火)に、昨年に引き続きベトナムのバスクマイ病院から町民医療福祉センターに、JICAの「草の根技術協力事業」の一環で、足こぎ車いすを利用したりハブリモデルの開発と人材育成を目的に訪れました。はじめに、涌谷町が取り組んできた「保健・医療・福祉・介護」を一体的に展開する「地域包括ケアシステム」とその成果を紹介。その後、老健施設と国保病院のリハビリ施設を見学するともに、自国の医療現場の活かそうと利用者の声も熱心に聞いていました。

地域の環境美化  
**11区コスモスクラブが花壇を整備**



8月1日(月)に、花勝山11区コスモスクラブの皆さん、国道108号沿いに20年以上にわたり整備し続けている花壇の作業をしました。過去に、建設省・国土交通省から何度も表彰を受けているこの活動。

自分たちで栽培したマリーゴールドを植え付けるなど、ドライバーの目を楽しませようと、定期的に活動しています。

この日は、湿度と気温が高い夏特有の気候でしたが、秋の花だんに向けて雑草を抜いたり、咲き終わった花を片づけたりと汗を流していました。

**充実した夏休みの学童クラブ  
八雲児童館にパラオからお客さま**



8月8日(月)に、八雲児童館にパラオ共和国からお客さまお招きし、「英語で遊ぼう」をテーマに交流を実施。

この催しは、町内在住の鈴木さんが以前パラオに住んでいたことが縁となり実現しました。鈴木さんからパラオの景色がスライドで紹介され、青い海が映し出されると「きれい!」と歓声が沸き起こりました。

その後、講師のビクトリアさんが、パラオの伝統的なダンスと歌を披露。子どもたちも頭に手づくりの花の飾りをつけて一緒にダンスをし、パラオの優雅な文化に親しみました。

**宝くじの社会貢献広報事業で助成申請が採択  
黄金自治会で報告会**



7月31日(日)に、黄金公会堂において「平成28年度一般コミュニティ助成事業(宝くじ)報告会」が開催されました。黄金自治会では、継続的かつ円滑なコミュニケーション活動を進めため、自治総合センター宝くじ社会貢献広報事業に助成を申請。厳しい審査を経て採択されました。

この日は、エアコンや音響機材、スクリーンなどをお披露目。その後「わくや天平ほたるまつり」の様子を上映し、活発な意見交換を行いました。この備品の活用によるコミュニティ活動の充実を期待します。

## 缶詰とポリ袋で簡単クッキング!

7月11日(月)町民医療福祉センターにて『缶たんクッキング』を開催。講師は、調理師・野菜ソムリエの勝又千枝さん。備蓄食品でもある缶詰を使い、ポリ袋に1人分ずつ材料を入れて真空状態にし、沸騰したお湯に入れて、時間を待ちできあがり。使用済みのお湯は、洗い物にも使い回せるという利点付き。栄養と旨味が逃げず一層おいしく、災害時に限らず、アウトドアや少量の物を調理したいときにも役立つ、簡単に良いことづくめのポリ袋調理法を学ぶことができました。



写真) 左: ポリ袋調理法、右: 炊き込みご飯、おかず蒸しパン、お豆のスープが完成

涌谷町の下水の仕組みを知ろう

## 涌谷浄化センターで小学生向け見学会



7月26日(火)、8月9日(火)の2回、涌谷町上下水道課が主催で、涌谷町の汚水を処理する「涌谷浄化センター」の小学生を対象とした見学会が開催されました。ビデオで下水道の基礎情報を紹介したあと、「涌谷浄化センター」内の施設見学に。下水道を通ってきた汚水がどのように処理されていくのか、目と鼻を感じながら一連の流れを確認していました。また、トイレットペーパーとティッシュペーパーの溶けやすさの比較など、生活に役立つ実験もありました。

### 城山の金さん徒然日記

## 涌谷の2団体が大石田町に遠征

8月15日(月)に、涌谷町の友好交流の町・山形県大石田町で開催された「維新祭」に、涌谷町から涌谷太鼓と万葉さくら組の2団体が出演。「維新祭」は、町民組織「大石田まつり」を10倍楽しくする会」が企画・運営するまつりで、山形県内はもとより、宮城県や福島県からも郷土芸能団体が出演するイベントじゃ。8月16日に開催される「大石田まつり」の前夜祭でもあるのう。万葉さくら組は今回で3回目、涌谷太鼓は2回目の出演じゃ。

雨が降つたり止んだりを繰り返す中、先陣を切ったのは涌谷太鼓。雨が大敵の太鼓の演奏。なんと奇跡的にその最中は、ぴたつと雨が止んだんじや。「清流江合太鼓」を演奏する涌谷太鼓の皆さんを、江合川の神様が守ったのかもしねんのう。夜が更けてきたころ、万葉さくら組が登場じや。華やかな衣装と扇をまとい、すずめのように華麗な舞を披露。

最後に、今年の「わくや夏まつり」の「総盆踊り」のモデルともなっている「元祖100人踊り」で山形県の郷土芸能「花笠踊り」を楽しんでまいった。



写真) 上: 江合川の流れる涌谷の情景を表現した清流江合太鼓、下: 桜色の扇を持ちヒラヒラと優雅にすずめのように舞う

# 涌谷町の人事行政の運営等の状況を公表

「涌谷町における人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数や給与などの状況をお知らせします。

## 1 職員の任免及び職員数に関する状況

### ▶部門別職員数の状況（平成27年4月1日現在）

		平成27年	平成26年	増減数
一般行政部門	議会	3人	3人	0人
	総務	38人	37人	1人
	税務	9人	9人	0人
	労務	0人	0人	0人
	農水	12人	12人	0人
	商工	4人	3人	1人
	土木	8人	8人	0人
	民生	25人	26人	△1人
	衛生	11人	11人	0人
	小計	110人	109人	1人
特別行政	教育	49人	49人	0人
普通会計合計		159人	158人	1人
公営企業等	病院	101人	90人	11人
	水道	6人	6人	0人
	下水道	3人	3人	0人
	その他	51人	45人	6人
	小計	161人	144人	17人
合計		320人	302人	18人

### ▶平成27年度採用者数および退職者数

区分	採用者数	退職者数
一般行政職	13人	11人
医療職	17人	6人
労務職	0人	2人
合計	30人	19人

### ▶退職の状況（平成28年3月31日）

退職事由	人 数	退職事由	人 数
定年退職	7人	死亡退職	2人
勧奨退職	一	再任用任期満了	3人
普通退職	7人	懲戒免職	一
		合計	19人

## 2 職員給与の状況（平成27年4月1日）

### ▶一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
涌谷町	41.1歳	293,377円	326,578円	308,873円
宮城県	42.3歳	323,015円	402,407円	357,738円
国	43.5歳	334,283円	—	408,996円

### ▶技能労務職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
涌谷町	50.5歳	279,273円	313,348円	297,182円
	うち用務員	48.5歳	274,400円	304,876円
	うち自動車運転手	54.0歳	287,800円	328,174円
宮城県	51.8歳	328,544円	371,143円	351,954円
国	50.2歳	289,141円	—	328,318円

※「平均給料月額」とは、平成27年4月1日現在における職員の基本給です。

※「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものです。また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したもの。